

2019年
6月10日

No.247

さざなみ

〒520-2141
大津市大江6丁目23-24
さざなみネット
 (金融労連・全国金融産業労働組合滋賀分会)
 TEL・FAX 077-545-5154

第65回滋賀県母親大会

大事なからだ 大事ないのちは食から

「子どもたちに平和な未来を」を大会テーマに、第65回滋賀県母親大会が6月2日、日野小学校と日野公民館で開かれ、900人以上が、さざなみネットから4人が参加しました。

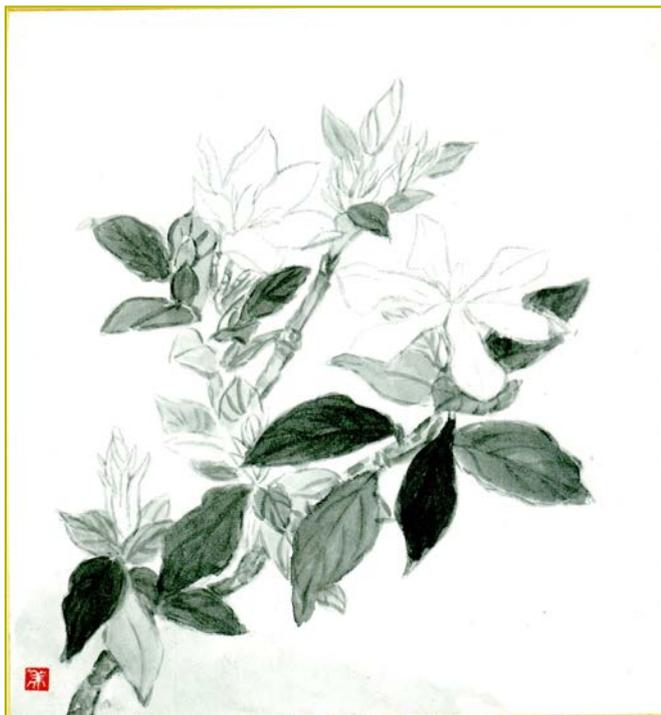
日野中学校吹奏楽部による演奏で幕が開き、来賓席には日野町長、教育長、日野小学校校長が並び歓迎していただきました。藤澤直広町長は「世界でも女性の活躍は目覚ましい。女性の力で時代を一緒に切り開いていきたい」とあいさつされました。

午前は元農林水産大臣で弁護士でもある山田正彦さんが「大事なからだ 大事ないのちは食から」と題し、次のように記念講演されました。

私たちの身体を作り支えてきた米、麦、大豆これらの主要農作物を安定供給するため、国が優良な種子の生産普及を定めていた種子法（主要農作物種子法）の下、日本で各地域に合った多様な品種が開発され100%自給してきた。しかしこの法律



山田 正彦さん



クちなシ 岩波 美智子さん 画



日野小学校であった全体会の模様

が民間企業の参入を阻害しているとして、2018年3月に、農家・JA・消費者など国民には何も知らされないままにわずかな審議で廃止された。このままでは、そのうち日本では遺伝子組み換えのコメの種子になるのではないかと心配している。先祖代々多くの人たちが自然とともに育ててきた種子共有財産を守ろうと、地方議会から意見書が出されたり、主要作物の種子を守る「種子条例」ができたりする動きも始まっている。安心できる食を守るために一緒に頑張ろう。

午後は17の分科会に分かれて熱心な話し合いがされました。記念講演の関連で「映画『ごはん』を觀ましよう～米作りの現状を知り、ともに考えよう～」に参加しました。

農家の後継者がいないため、主人公の父が地域の困っている人の田んぼ30軒近くを請け負って忙しく働いている中、突然死んでしまう。東京で就職していた1人娘が急遽帰らざるを得なくなり、一人の青年と共に何にもわからない状態から、悩みながら地域の人々の助けを借りながら米作りをしていく。広々とした田園風景を見せながら、今の農村が抱えている問題、現状が描かれていました。本当に深刻な問題です。

暑すぎず寒すぎずの気温で一日学び良い大会でした。

(浦谷さんと清水さんからいただいた記事を、編集部で1つにまとめました。)

オープニング
日野中学校吹奏楽部による演奏

ちぎんしがの会総会 来年また元気で一緒に楽しい時間が持てるように

6月9日、大津市・ニューびわこ健康サマーランドでちぎんしがの会総会が開かれ、19人が集まり、さざなみネットから3人が参加しました。

午前は希望ヶ丘グランドゴルフ場でグランドゴルフを楽しみました。

お昼からの総会は、和田一郎年金者部会・部会長のあいさつで始まり、午前中に行われたグランドゴルフの表彰式が行われました。

議事は古田雅二ちぎんの会（全国）副会長から、淡路島で行われた前回総会以降の経過報告が、また澤井正滋賀銀行従業員組合書記長から「最近の職場の状況」などが報告されました。

交流会は馬場正男さんの音頭による乾杯で始まり、参加者全員が近況などリレートークしま



全員で乾杯をして交流会が始まりました

した。みんな健康に気を付けて、来年また元気で一緒に楽しい時間が持てることを願っています。

革新の会しが時局講演会 朝鮮半島の平和 完全な非核化のために真剣な協議を

5月25日、革新の会しがの時局講演会が開かれ、63人、さざなみネットから2人が参加しました。講演会では、日本共産党副委員長・



講演をする緒方靖夫さん

国際局長の緒方靖夫さんが「朝鮮半島の非核化と平和体制構築をめぐる情

勢と日本国民の課題」と題して講演（概略下記）されました。

今年2月の第2回米朝首脳会談は、「完全な非核化とはどんな状態か」を巡って議論が進まず、合意に至らなかった。その後、米・朝・韓・中はそれぞれ思惑で行動している。リスク要因もあるが、米朝双方が合意に近づいていくことは期待できる。

朝鮮半島の平和体制の構築、朝鮮半島の完全な非核化合意のために真剣な協議を期待したい。

日本共産党は数次の韓国訪問、アジア政党政会議などで北東アジア平和協力構想、朝鮮半島の平和体制構築を提唱している。今後もとも憲法9条を生かし平和外交を進める。

滋賀県民集会 市民と野党の共闘で 何としても安倍政治を終わらせよう

目前の参院選で野党4党が推薦する統一予定候補・嘉田由紀子氏を勝利させようと、市民団体が6月8日、県立男女共同参画センターで「市民と野党の共闘で参議院選挙に勝利し、安倍政治を終わらせる滋賀県民集会」を開き、約150人が参加、会場は熱気に包まれました。

第1部は政治評論家・佐高信さんが「安倍暴走政治と闘う」と題して基調講演をしました。

講演の冒頭、「今年の参議院選挙における32の1人区で野党統一候補が決定した。いよいよ安倍が憲法を壊す作業に着手するお墨付きを得るのか、選挙に惨敗して政権を投げ出すのかが決まる重要な選挙戦が開始される。滋賀は私から見て1番勝てる可能性の高い選挙区なので応援に来た。それぞれ自分の言葉で周りの人に支持を訴えるような選挙活動を展開して、安倍暴走政治にストップをかけよう」と訴えました。

第2部では市民団体など7氏がそれぞれスピー

ル。拍手に迎えられた野党統一・嘉田由紀子選挙区予定候補は、野党が10回に及ぶ協議を重ねて作り上げた「共通政策」9項目を紹介。「権力の行使者が権力を私物化している」と安倍首相を厳しく批判しました。

集会には県内5野党代表も参加し決意表明。

本気の共闘で勝利しようと思いつきました。



嘉田由紀子さんが訴え